

第6次所沢市総合計画 第1回「絆」ミーティングに係る結果報告

会議名称	第6次所沢市総合計画 第1回「絆」ミーティング
日 時	平成29年 6月 4日(日) 10:00~12:10
会 場	所沢市役所8階大会議室
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 説 明 (オリエンテーション) <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合計画とは (2) 「絆」ミーティングの位置づけと役割 (3) 検討スケジュール (4) 市に関する情報提供 4 所沢市の将来像の検討 <ol style="list-style-type: none"> (1) グループワーク (2) 成果発表 5 その他 6 閉 会
出席者	<p>出席者 99名</p> <p>【内訳】 市民検討会議団体委員13名(欠席1名)、 市民委員24名(欠席3名) 職員プロジェクトチーム44名(欠席4名) 事務局7名 経営企画課職員 ファシリテーター11名 株式会社地域計画連合職員</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1. 第6次所沢市総合計画 市民検討会議委員名簿 ・資料2. 職員プロジェクトチーム名簿 ・資料3. 第6次所沢市総合計画 計画策定スケジュール ・冊子「第5次所沢市総合計画」 ・冊子「第5次所沢市総合計画後期基本計画」 ・冊子「第5次所沢市総合計画実施計画書 2017~2020」 ・冊子「平成28年度版所沢市市民意識調査」

グループワークに係る各班検討結果概要

テーマ：「所沢市の10年後の目指したい姿（将来像）」を考えよう

《結果》

各班で出された「目指したい姿（将来像）」
<ul style="list-style-type: none"> ・【地域の愛着・人とのつながりがある】 ・【子どもが笑顔でいられる】 ・【誰もが安心して暮らせる】 ・【自然の豊かさを楽しめる】 ・【生活の利便性が高い】 ・【所沢らしさが発揮されている】

《「目指したい姿」の主な意見》

分類	目指したい姿（将来像）（※主な意見）
【地域の愛着・人とのつながりがある】	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいることに愛着を持てる ・地域の中で交流がある ・互いに支えあい、助け合える ・市民の人が活発に活動している
【子どもが笑顔でいられる】	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがのびのび育つ ・子ども達が安心して外で遊べる ・不登校の子どもにも居場所がある ・仕事と子育てを両立できる ・親が楽しく子育てできる ・地域ぐるみで子育て家庭を支える ・教育が充実している
【誰もが安心して暮らせる】	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健やかに安心して暮らせる ・高齢になっても元気で生活できる ・障害のある人もない人も分け隔てなく生活できる ・女性が安心して働ける
【自然の豊かさを楽しめる】	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな緑や川を活かす ・都会にいながら田舎のなつかしさを感じられる ・農業体験ができる場所
【生活の利便性が高い】	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の利便性が高い ・市内で買い物をすませられる ・市内に働く場所(雇用)がある ・様々な情報がわかりやすく入手できる
【所沢らしさが発揮されている】	<ul style="list-style-type: none"> ・「所沢」と聞けばすぐイメージできるものがある ・「所沢ブランド」がPR・周知されている ・所沢の文化を発信している

各班検討結果 【班別（詳細）】

《1班（市民生活）》

【地域コミュニティの安心】

- ・子どもが のびのび遊べて、学べて、才能をのばせる
- ・子どもが 伸びやかに育つ
- ・それぞれの家庭が 隣人・近隣に不安を感じない
- ・誰でも 安心・安全（である）
- ・地域の方々が 交流する場が多い

【情報の安心・安全】

- ・情報が 市民全体に行き渡る（災害・日常）
- ・情報が 市民全体に結果まで行きわたる

【自然をそのままに】

- ・緑が 多い/近い
- ・緑や川が 有効に存在する

【高齢者の安心・安全】

- ・高齢者に やさしい、買い物難民がない
- ・高齢者が サギ被害に遭わず、安心、安全なくらしをできる
- ・高齢者が 認知症予防のために出かけられる場所がある
- ・高齢者が 健やかに・安心して暮せる
- ・高齢者が 家の外で他世代と交流できる場が多い

【子どもの安心・安全】

- ・母親が 働きやすい
- ・子どもたちが 外で遊べる場所がある
- ・託児所のある職場が 十分にある
- ・子どもが（子育て世帯が） 多い、のびのび育つ

【クリーンなまち】

- ・街全体が ゴミが少ない（清潔）/不法投棄がない

【所沢ブランド】

- ・まちが にぎやか（いつも何かやっている）
- ・仕事が多くある
- ・個人商店が 活性化している
- ・所沢といえばコレとイメージできるブランド力がある（うどんをもっと広めたい）
- ・市が 有名

【その他】

- ・市民が 健康
- ・すべての住民が 危機意識をもつ／防災意識が高い
- ・街全体が 治安がよい（犯罪が少ない）

《2班（福祉）》

【地域のコミュニティ】

- ・誰もが 共に支え合える
- ・皆が 助け合える
- ・住んでいる誰もが 住みやすいと思える
- ・近所のつながりが 活発（である）

【施設に入らず地域でくらす】

- ・介護予防の制度が 充実している
- ・介護保険の内容が 充実している

【子ども・障害のある方】

- ・子どもが 安心して暮らせる
- ・子ども、障害者、高齢者が 共生できる
- ・障害のある方も、ない方も わけへだてなくいきいきと社会生活を送れる
- ・障害者が 気軽に外に出られる

※障害者手帳について、都道府県によって基準判定は異なるが、全国统一した方が分かりやすい

【誰もが安心してくらす】

- ・市民が 安心して暮らせる
- ・高齢者が 生きがいを持っていきいきと暮らせる

【高齢者が元気に】

- ・高齢者が 元気（である）
- ・高齢者が 地域活動に参加しやすい

【交通利便性の向上】

- ・交通利便性が 高い

※鉄道（西武鉄道） 現在踏切があるが、高架化、地下化になったらよい。それによって、電車の遅延率が低下する。

※鉄道 所沢～秋津の間に武蔵野方面につながる路線があるが、実際は電車が走っていない。電車を開通させ、西武線と武蔵野線を直通運転として欲しい（所沢駅から新小平駅に移動できるようにしてほしい）

【出生数・定住】

- ・出生数が 全国平均を上回る
- ・定住を希望する世帯が（現役世代） たくさん転入する

【文化の発信】

- ・市が 文化を発信している

【ホームレス対策】

- ・ホームレスが いない（安全に暮らすことができる）

※ビッグイシュー（ホームレスの人が販売する雑誌）を所沢でも発売できるとよい

【トイレ】

- ・公衆トイレが もっと多く設置されている

【緑】

- ・緑を 多く残している

《3 班（子ども）》

【まち全体の方向性】

- ・所沢市の現役世代人口が 増え続けている
- ・すべての人が こうありたいと望むように生きていける
- ・すべての世代の人たちが いつまでも住み続けていたいと思う

【子どもが安心して暮せる】

- ・子どもの差別・虐待が 無い
- ・子どもが 隠さずなんでも話せる/ずっと笑顔でいられる
- ・子どもが 安全に過ごせる
- ・子どもが 安心して過ごせる
- ・子ども達が 安心して暮らせる
- ・子ども達が 夢を実現できる
- ・すべての子どもたちが 地域で安心して遊ぶことができる
- ・すべての子どもたちが 安心してのびのび育つ
- ・すべての子どもたちが 心から笑顔になれる
- ・子どもが おもいきり遊べる
- ・不登校の子どもに 居場所がある

【親が安心して子育てできる】

- ・仕事と子育てが 両立できる
- ・子育て世帯が 所沢で子育てしたいと考える
- ・子育て世帯が 子どもを生まやすい
- ・子育てが しやすい
- ・母親が 安心して子育てできる
- ・母親の 笑顔が多い
- ・子どもを持つ共働き世帯が 安心して生き生きと過ごすことができる
- ・専業のお母さんも 安心して生き生きと過ごすことができる
- ・親が 楽しく子育てをできる

【子どもがのびのびと育つ】

- ・子どもたちが 自分で考え判断して生きていく力を身につけられる
- ・子供達が たくさんの愛情を感じる

【地域ぐるみで子育て】

- ・子どもが地域と連携した 共生社会の実現
- ・地域全体が 子どもを見守る
- ・地域全体が 子育て家庭を支える
- ・ご近所で子どもを 見守れる

【交流ができる】

- ・市民一人ひとりが 誰かと関わるができる
- ・みんなが 笑顔であいさつ出来る
- ・周りの人が みんな知り合いという安心

《4 班（健康・医療）》

【みんなが 健康を意識しながら生活できるまち】

- ・市民全員、特に高齢者 健康を保つ
- ・お年寄りが 健康で生活できる
- ・高齢者が 元気で長生きできる
- ・働き世代の人が 老後も役割を持ち生き生きと暮らせる

【子供を安心して生める】

- ・産婦人科、婦人科の病院が 十分にある（婦人科専門も）（現状は病院がとても混んでいる）
- ・スムーズに妊産婦が 受診できる
- ・子どもが たくさん住んでいる（住みやすい環境となっている）
- ・子どもが たくさん体をうごかせる
- ・子育て世帯が いつでも安心して医療が受けられる
- ・子育て世帯が 子どもの健康について相談できる（必要な知識がないために無駄な医療も発生している）

【子育てのお得感！がある】

- ・これから子供を産みたいと思っている女性が 安心して子供を産める（経済的な負担の軽減）
- ・子育て（赤ちゃん） インフルエンザなど予防接種を無料で受けられる（共働きの世帯の子育て負担が軽減される！）

【対外的な魅力がアピールされている・わかりやすい情報が行きわたる】

- ・様々な情報が わかりやすく入手できる
（ガン検診発信しているのに伝わっていない/市民広報が中途半端/安心して住めるための情報発信）
- ・みんなが 安心して暮らせるまち（医療の情報が行きわたった状態）

【40才以上 健康マイレージ！緑豊環境豊か！】

- ・団塊世代の老夫婦 増えている
- ・次世代・若い夫婦世帯が住みやすい

【皆がまちへの愛着をもっている】

- ・みんなが（特に子ども） 住んでいることに愛着をもてる
- ・地域の商店街が 活発（商店街が無くなり郊外のショッピングセンターに行っている）
- ・24時間いつでも 安心して生活できる（子どもが夜、塾から帰って来られる/一人で遊びに行ける）

≪5 班（教育）≫

【子ども】

- ・子どもたちが 夢をもって学ぶことができる
- ・子ども達が 地域の高齢者から学べる

【市民が元気】

- ・子どもたち 身体を動かす、楽しみを感じる
- ・お年寄りが めちゃめちゃ元気
- ・シニア世代が 老後を楽しく過ごせる
- ・スポーツ施設（会話のできる場所）がある
- ・市民が 健康
- ・音楽が溢れる
- ・良い音楽を身近に聴く機会がある

【教育の充実(社会教育も充実させる)】

- ・児童・生徒が 豊かな学校生活を送れる
- ・クラブ活動授業が 充実している
- ・小学校が きれいになっている
- ・子ども達一人ひとりが 安心して通える学校となってほしい（楽しく、平等に）
- ・教員が 働き方のモデルとなっている
- ・ICT教育が 充実している

【安心して暮せる】

- ・ご近所さんが みんな家族のような関係性である（挨拶が盛んに交わされている）
- ・マイカーなしでも高齢者が 市内どこでも移動できる
- ・女性たちはもちろん男性も 安心して働ける
- ・マイノリティ（社会的少数派）の人たちが 居住地のよい環境がある
- ・女性たちは（もちろん男性も） 安心して働ける
- ・発達障害者の方が 市内でよく理解されている
- ・市民だれもが 男女平等意識をもっている（男女二分法ではない）
- ・川沿い地区に住む人が 安心して住める/所沢市の良さにアクセスできる

【市民活動充実】

- ・市民でイベントを行いたい人が 行政手続（施設や道路使用など）の方法を知ることが出来る
- ・親子が 参加できるプログラムを自ら企画、運営できる
- ・親子（20代～30代の方が） 注目されるイベントや企画運営できるようになる
- ・市民のやりたいことが 実現できる

【市民コミュニティ】

- ・全ての市民が 町であいさつできる

【自然豊か】

- ・空気と水が 日本一（である）
- ・自然と都市が 共存できる

《6班（環境）》

【都市整備（住民との連携のもとに）】

- ・都内まで行かずに市内で買い物などが 全てできる
- ・カドカワのさくらタウンが 所沢住民のいこいの場になる／雇用を生んでいる

【働く場の確保・保証】

- ・働くお母さん・お父さんが 子どもを安心して預けられる（病気回復まで）（急な用事がある時など）
- ・空き地・空き家が 有効活用され、全ての世代の定住促進できる街（グループホーム、若い世代のシェアハウス、小規模保育所、農業法人）
- ・働きざかり、子育てしている世代が 市内で働ける（所沢の緑を活用し、農業法人など安定した雇用を確保できている）

【高齢者にやさしい】

- ・介護が必要な方が なるべく近くの施設に入れる
- ・高齢者が いつでも乗れるバスがある

【市の魅力 UP(楽しみ・生活の豊かさ)】

- ・子どもも大人も 人と人とのつながりをもち、心豊かに暮らせる
- ・たくさんの子供が 外で元気に遊べる
- ・たくさんの子供が 放課後自由に遊べる場所がある
- ・子供が 元気に遊べる、地域を感じる事ができる
- ・市外の人達が 住んでみたいと思う
- ・誰もが 所沢の魅力を発信できる
- ・住民が 暮らしやすい（住居・みどり・交通と区分できる街並がある）

【自然豊かで田舎らしさも感じられる(みどり)】

- ・自然が 身近に感じられる
- ・市民が みどりの維持管理・創出に関わる
- ・市民が みどりの役割を理解し自助に努める
- ・今あるみどりが 適切な管理のもとで残（遺）される
- ・平地林・公園・街路樹などのみどりが 市内で回廊となる（生態系・防災・いこい）
- ・都会にしながら 田舎のなつかしさを感じられる
- ・子どもたちが 川で魚とりや水遊びをできる
- ・東川流域が 桜や花々の名所になっている（市民との協働で維持管理ができている）

【スポーツの活用(スポーツブランドとして)】

- ・ライオンズの応援を もっと職員と住民（市）が一体となって行っている

【農業の促進・維持】

- ・農業の後継者が いる（農地が減っている？農家の後継者確保の為の施策が必要）
- ・市民が 農業体験をできる場所がある（食の大切さを学ぶことができる）

【道路整備・まちづくり】

- ・車が 中心の街づくりでないまちとなっている

※道路を拡張することにより災害時の避難、日常的な車のすれ違いなどに役立つ 2
自転車・歩道を増やすことで全ての人が安心できる（車の運転が減りエコに貢献できる）

※東所沢の人のために 市役所の出先機関ができれば良い

《7 班（産業振興）》

【ビジョン・方向性をみんな(市民)が共有できる】

- ・所沢市が 埼玉県（日本）の中心都市になっている

※ビジョン・方向性が共有できれば、組織の成功に近づく

【『所沢って何があるの?』に答えられる】

- ・「所沢」ブランドが 全国的に認められている
- ・在来の人、外から来た人も 所沢=〇〇に答えられるようになっている
- ・所沢以外に住む人が 市に魅力や憧れを感じる
- ・地方からの若い上京者が 所沢の名物を知っている
- ・所沢と聞けばすぐにイメージが湧く何かがある
- ・所沢に住む人が 住むまちに誇り、愛着を持つ

【にぎわいを生みだせる、外貨を稼げる】

- ・市外、県外の方が 観光や仕事で所沢市に来る、お金を地元に落とす

【財政の安定】

- ・市民が まちをPR、説明、発信したくなる（広告宣伝費を使わずにPRができる）
- ・市の財政や歳出が 安定する
- ・企業が 事業を興す
- ・市が ベッドタウンから脱出している

【支出の抑制】

- ・健康づくりのため市民が 狭山茶を消費している
- ・財源（支出）抑制も含め市民が 健康づくりに取り組んでいる

【子育て世代】

- ・子育て世代が 住みたいと思う
- ・子育て世代が 一諸に楽しくすごせる
- ・子育て世代が 楽しく（便利に）生活できる
- ・子育て世代が 近くで働くことのできる

※子育て世代 = まちを真剣に選ぶ・向こう 20～30 年を考えるタイミング

【高齢者】

- ・高齢者の方が 安心して暮らせる
- ・高齢者が 都内へ移住せず留まってくれる（買い物利便性・医療・コミュニティ・つながりを魅力に）

【働く世代】

- ・市民が（特に若者が） 働く場所に困らない、所沢で暮らしを完結できる（東京に出かけずに）
- ・働く世代が 多くいるようなまち

《8 班（街づくり）》

【誰もが安心して暮らせるまち】

- ・誰もが 安心して住み続けられる

【周りにPRできるまち】

- ・住民が 自分の街を好きになれる
- ・先輩社員が 誇れる

【多世代が交流できる場】

- ・地域が 交流できる
- ・市民が 助け合える
- ・一人暮らし世帯が 地域とのつながりを感じられるまち

【高齢者】—空き家や農地の活用

- ・一人暮らしのお年寄りへの サポートが充実している街
- ・ヤングシニアが（60 代） 輝ける（充実した）日々を送れる

※空き家が増えている（こぶし団地） 町内において老人が多く住み、若者が少なくなっている。今後が心配、どうするか。

【誰もが移動しやすいまち】

- ・自動車が 渋滞しない
- ・渋滞・事故が 起こらない
- ・自転車が 安全・安心で通行できる
- ・みんなが 安心して歩ける（歩道・自転車道整備）
- ・市民が 安全・安心に歩ける
- ・所沢駅のアクセスが 都心以外にもアクセスできるようになっている

【買い物】

- ・ショッピングが 充実した町になる
- ・市民が 市内で生活（買物等）できる街

【子育て世帯】

- ・子育て世帯が（未就学児が） 安心して働ける
- ・子どもが 安心して学べる、遊べる
- ・子どもが（主に小学生が） 放課後安心して遊べる
- ・子どもが 地域みんなに見守られている
- ・子どもたちの 笑顔があふれている
- ・子育て世帯の サポートが充実している
- ・3世帯が 共生できる

《9 班（行財政運営）》

【福祉・見守り(共生)】

- ・誰もが（性別・年齢・障害の有無・出身に関わらず） 安心して暮らせる
- ・誰もが（社会的弱者を含む）誰もが やりたいことができる/できることをする/参加できる

【高齢者】

- ・高齢者が 健康で長生きする
- ・高齢者・働き世代 安心して生活できる/安心して働ける

【行財政の安定(社会のコストを減らす)】

- ・手続きが 楽になる
- ・市役所が 低燃費になる（事業を選ぶ、優先順位を付ける時代）
- ・お金持ちが・市財政が 健全性を保っている、住みたくなる

【若者の働く場】—安心感がある

- ・若者の働く場が 確保されている
- ・若者が チャレンジできる
- ・今の小学生が 将来地元で働ける
- ・若者が (20代～30代前半) 所沢から出ていかない
- ・若い世代が 十分な貯金をできる

【地域で支え合い(世代間の交流)】

- ・みんなが 友だちになる、仲良くなる

【女性(若い女性)が逃げない】

- ・人口減少が ゆるやかである
- ・女性が 働きやすい環境整備
- ・学童保育の保育士が 十分にいる
- ・時間がある人が 子育てに協力する
- ・女性が 働ける場所がある

【交通】

- ・家族連れの車が 移動しやすい